

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	「遊び」「運動」「学習」で笑顔溢れる発達支援教室			
○保護者評価実施期間	2024年1月1日		～	2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	放課後等デイ 31 児童発達 10	(回答者数)	放課後デイ 24 児童発達 8
○従業者評価実施期間	2024年1月1日		～	2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 柳沢運動プログラムを用いた運動遊び+静かな活動 PT,STによる専門的支援 	<ul style="list-style-type: none"> 運動あそびで体を動かした後に、静的な時間を組み合わせている 楽しみながら体を動かす PT,STによるスタッフ研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 運動療育のスキルアップ研修 大人も楽しく体を動かす PT,STの個別指導時間を確保する
2	<ul style="list-style-type: none"> 「ほごしゃプラス」(保護者会)の開催 ファミリー参加型イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 年に数回「ほごしゃプラス」を開催し沢山の保護者に参加して頂いている 運動会や音楽会のイベントには保護者だけではなく、きょうだいや祖父母へも参加を呼びかけている 	<ul style="list-style-type: none"> 第15回 「先輩ママの話を聞こう」 第16回 「インクルーシブ防災」 第17回 「応急救命講習会」に続く素敵な企画を立て実施していく
3	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる事ができるプログラムを提供(外出、イベント、制作等) 豊富な社会体験、社会経験が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> 四季折々の登山、大型バス遠足、公園、書初め大会やハロウィン、クリスマスパーティー等、様々な体験を積み重ね社会経験のスキルUPを目指している 	<ul style="list-style-type: none"> 今年も3教室合同のイベント(夏:大型バス遠足 冬:高尾登山)を企画し実施する コロナ禍も落ち着いてきたので、今後は更に視野を広げ行動範囲を広げていきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎日のタイムスケジュールに入っている「運動あそび」が盛り上がりすぎてしまい、引き続き行う「静かな活動」の時間が少なくなってしまう事がある	<ul style="list-style-type: none"> 運動保育士による時間配分 何回もやりたがったり、丁寧な動きをする児童の対応 	サポートスタッフがタイムキーパーとなり時間を管理していく
2	児童発達支援児童と放課後等デイサービス児童が混在している日は、ペースが乱れてしまう事がある	同じスペースを使っているため、場合によってはスペースや活動を分けた療育を提供していく	大きい子は小さい子のお世話をしたり、小さい子は大きい子を良きお手本として、お互いを慕う関係、環境を整えていく
3	楽しいおでかけ(外部運動施設での運動遊び・温水プール・公園・歩行・外食体験等)が多く、教室内での療育時間が少ない時がある	つつい、利用児童や家族からの希望を受け入れ計画を立て実施してしまう	外出先でも、教室にいる時と同じようにタイムスケジュールをたて「始まりの会」や「終わりの会」を行いメリハリをつけていく